

子育て支援関連事業一覧(平成31年度)

No.	事業名	予算額	(財源内訳)	事業概要	(予算額)	(財源内訳)	事業概要(詳細)
1	子ども・子育て支援事業計画策定費	2,160千円	— 2,160	子ども・子育て支援業務計画策定業務	2,160千円	— 2,160	第2期釧路市子ども・子育て支援事業計画策定業務にかかる委託料
2	利用者支援事業費	596千円	国1/3、道1/3 特 14,400	利用者支援事業	596千円	国1/3、道1/3 特 14,400	子ども及びその保護者等が教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、情報提供や相談・助言等必要な支援を行うとともに、関係機関との連絡調整等を行うことを目的とする。
3	幼児教育無償化	216,749千円	国 216,749	認定こども園分	167,180千円	国の臨時交付金による	2019年10月より開始される幼児教育無償化による。
				新制度幼稚園分	49,569千円	国の臨時交付金による	
				保育園分 (保育料の収入減)	— 千円	国の臨時交付金による歳入 △49,911	
4	市立保育所事業	395千円	その他 1,990	市立保育所事業	395千円	その他 1,990	①公立保育園における防犯補助錠の購入及び音別認定こども園における備品購入 ②城山保育園廃園に伴う産業廃棄物の収集処分費用
5	教育・保育等給付費	1,121,059千円	国1/2、 道1/4、1/2 特 774,295 — 346,764	認定こども園	1,051,883千円	国1/2、 道1/4、1/2 特 729,061 — 322,822	①保育所から認定こども園へ移行する施設への施設型給付費(8施設) ②幼稚園から認定こども園へ移行する施設への施設型給付費(2施設)
				新制度幼稚園 (施設型給付)	69,176千円	国1/2、 道1/4、1/2 特 45,234 — 23,942	①私学助成を受ける幼稚園(旧制度幼稚園)から施設型給付を受ける幼稚園(新制度幼稚園)へ移行する施設への施設型給付費(2施設)
6	第2子以降の3歳未満児の乳幼児に係る保育料の無償化	— 千円	保育料 △19,330 道1/2 特 9,665 — 9,665	保育園分 (保育料の収入減)	— 千円	保育料 △19,330 道1/2 特 9,665 — 9,665	①北海道の補助を受けて実施する第2子以降の3歳未満児の乳幼児に係る保育料の無償化 ②年収約640万円未満の世帯について、多子計算における第1子目の年齢制限を引き上げ、第2子以降の保育料を無償化する ③子育て世帯の経済的負担軽減し、子育てへの安心感の向上を図り、安心して子どもを産み育てられる環境の整備を図る
				地域型保育施設分	6,845千円	道1/2 特 3,422 — 3,423	
				認定こども園分	44,581千円	道1/2 特 22,290 — 22,291	
7	保育利用に係る多子世帯への配慮	— 千円	保育料 △865 — 865	保育園分 (保育料の収入減)	— 千円	保育料 △865 — 865	①多子世帯(3人兄弟以上)について、国による保育料負担軽減策(多子計算における第1子目の年齢制限を引上げ)の年収制限を緩和(国約360万円→釧路市約420万円に引上げ) ②第2子(保育料半額)及び第3子(保育料無料)の対象者の拡大 ③子育て世帯の経済的負担軽減し、子育てへの安心感の向上を図り、安心して子どもを産み育てられる環境の整備を図る
				認定こども園分	2,796千円	— 2,796	
				新制度幼稚園分	122千円	— 122	
				旧制度幼稚園分 (幼稚園就園奨励事業)	609千円	— 609	
8	健診おたすけプラン事業費	344千円	特 344	健診おたすけプランの実施	344千円	特 344	①子育て世帯が、若者健診の受診時及び別日で行われる健診結果説明会参加時に、託児を実施 ②健診受診をサポートするとともに、健診の受診率の向上を図る
9	病後児保育費	6,304千円	国1/3、道1/3 特 4,202 — 2,102	病後児保育事業の試行実施	6,304千円	国1/3、道1/3 特 4,202 — 2,102	①認定こども園釧路共栄保育園で実施
	合計	1,402,560千円			1,402,560千円		